

令和7年度

事業概要書

令和7年6月6日

豊後高田土木事務所

目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の状況	
(1) 管内の現況	2
(2) 道路現況(国道・県道)	3
(3) 河川現況	4
(4) 港湾現況	4
(5) 砂防現況	5 ～ 6
3. 令和7年度の事業概要	
(1) 主要施策(重点事業)の概要	7 ～ 10
(2) 令和7年度公共事業施工箇所調書	11 ～ 13
(3) 単独事業費調書	14
(4) 災害復旧事業進捗状況調書	} 15
(5) 検査箇所調書	
4. 用地登記事務処理状況	16

1. 職員現員数

(令和7年4月1日現在)

職 種 組 織			一般行政職員		技能労務職員					計	非常勤 職員	長 期 臨時職員	
			事務	技術	事務補佐	技術補佐	技 師	道路パト ロール員	土 木 巡 視				業務技師 (道路パトロール員)
現 員	所 長			1							1		
	総 務 課	次長兼課長	1								1		
		総務班	5								5	1	
		用地班	3								3	3	
	建 設 ・ 保 全 課	課長		1							1		
		管理班	2						1		3	1	
		保全班		4							4		
		企画・道路班		5							5		
		河港砂防班		4							4		
	現 員 合 計		11	15	0	0	0	0	1	0	27	5	0

2. 管内の状況

(1)管内の状況

当事務所の管理区域は、平成17年3月31日に旧豊後高田市、旧真玉町、旧香々地町の1市2町が合併した豊後高田市の1市からなっている。管内総面積は約206.24km²であり県全面積の約3%を占め、人口は21,678人(令和7年3月末現在)となっている。

①地 形

当事務所の管内は、大分県の北部、国東半島の北西部に位置し、山地部は、瀬戸内海国立公園及び国東半島県立自然公園に指定され、海岸部は、周防灘に面している。市の東部から南部にかけて、ハジカミ山、尻付山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山などの山々が連なり、国東半島の中央部にある両子山から放射状に谷や峰々が延びた地形となっている。それらの谷間を桂川、真玉川、竹田川が流れ、河口付近に市街地が形成されている。

②産 業 等

管内では、地域ブランドとして西日本一の生産量を誇る「白ネギ」、春秋の2回栽培ができる「豊後高田そば」などの農業、浅海地域では観光潮干狩りが盛んとなっている。さらに、リアス式海岸地域では、刺し網漁、小型定置網漁、籠漁などが営まれ、沖合では、牡蠣や赤貝の養殖も行われている。

産業では、平成11年以降、大分北部中核工業団地を中心に、OA機器や精密製品、自動車関連部品(プラスチック・ゴム製品)の製造が盛んとなっており、主に中津市や北九州市等へ出荷している。

③観 光 等

管内には、昭和30年代の賑わいを再現し、映画やドラマのメインロケ地にもなった「昭和の町」や「栗嶋神社」、「日本の夕日百選・真玉海岸」、「花とアートの岬・長崎鼻」、それらを結ぶ「恋叶ロード」などの観光名所がある。

また、世界農業遺産としても評価された中世荘園の田園がそのまま残る「田染荘」や、真木大堂、富貴寺に代表される独自の神仏習合文化「六郷満山文化」の史跡、そのほか、国東半島最大の岩峰群である「中山仙境(夷谷)」などの7件の国指定名勝・国登録記念物があり、豊かな自然や歴史文化などが豊富な地域である。

(2) 道路現況(国道・県道)

(道 路)

(令和5年3月31日現在)

道 路 種 別	路 線 数	実延長(km)	改 良 別 内 訳				路 面 別 内 訳			
			改良済(km)	%	未改良(km)	%	舗装済(km)	%	未舗装(km)	%
一 般 国 道	1	23.7	23.7	100.0	0.0	0.0	23.7	100.0	0.0	0.0
主 要 地 方 道	4	39.0	38.3	98.2	0.7	1.8	39.0	100.0	0.0	0.0
一 般 県 道	8	57.8	43.7	75.6	14.1	24.4	56.7	98.1	1.1	1.9
計	13	120.5	105.7	87.7	14.8	12.3	119.4	99.1	1.1	0.9

※改良済:舗装幅が5.5m以上の道路 旧道は除く

(橋 梁)

(令和5年3月31日現在)

道 路 種 別	箇 所 数	延 長(m)
一 般 国 道	20	453.0
主 要 地 方 道	20	510.0
一 般 県 道	35	701.0
計	75	1,664.0

(トンネル)

(令和5年3月31日現在)

道 路 種 別	箇 所 数	延 長(m)
一 般 国 道	6	2,137.0
主 要 地 方 道	3	637.0
一 般 県 道	3	223.0
計	12	2,997.0

(3) 河 川 現 況

(令和7年3月31日現在)

河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)
田 笛 川	3,656	高 宇 田 川	960	羽 根 川	3,200
明 野 川	1,980	石 部 川	3,679	竹 田 川	8,560
桂 川	17,800	広 瀬 川	6,120	八 幡 川	1,830
御 玉 川	1,800	近 広 川	2,230	見 目 川	4,825
都 甲 川	12,530	赤 坂 川	5,090	寄 藻 川	2,000
長 岩 屋 川	4,890	真 玉 川	11,720		
内 山 川	360	恵 良 川	2,885		
丸 山 川	2,920	臼 野 川	5,280		
露 川	5,140	北 川	1,735		
小 崎 川	2,965	堅 来 川	4,955	計 25 河川	119,110

(4) 港 湾 現 況

(令和7年3月31日現在)

港 湾 名	区 分	備 考
高 田 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
臼 野 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
堅 来 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
羽 根 港	地 方 港 湾 (重要港湾以外の港湾区域の定のある港湾)	
真 玉 港	56 条 指 定 水 域 (港湾区域の定めのない港湾)	

(5) 砂 防 現 況

(砂防指定地)

(令和7年3月31日現在)

溪 流 名	指定延長(m)	溪 流 名	指定延長(m)	溪 流 名	指定延長(m)
長 岩 屋 川	7,780	原 川	290	明 ノ 迫 川	600
並 石 川	2,000	臼 野 川	7,000	八 幡 川	1,260
丸 山 川	3,000	真 玉 川	9,300	西 夷 川	1,900
小 崎 川	4,650	大 岩 屋 川	2,500	金 林 川	1,450
路 川	5,000	西 弘 川	1,500	松 津 川	1,100
相 原 川	5,000	赤 坂 川	4,800	下 坊 中 川	162
熊 野 川	4,500	横 泊 川	2,100	長 小 野 川	121
松 行 川	650	根 の 木 川	1,100	第 2 田ノ口川	240
迫 田 川	2,800	坂 敷 川	700	大 力 川	120
茂 原 川	2,300	西 畑 川	1,100	第 2 上坊中川	229
両 田 川	2,500	重 野 川	222	門 出 谷 川	550
西 原 川	2,700	堅 来 川	4,500	築地第一川及び 築地第二川	520
影 平 川	1,580	羽 根 川	3,600	第 2 琴ノ組川	370
大 屋 敷 川	368	見 目 川	5,000	梅 ノ 木 川	650
日 平 川	465	竹 田 川	7,950	横 岳 谷 川	320
梅 田 川	610	湊 川	1,200	新 城 川	290
鶴 谷 川	1,044	高 島 川	1,250	中 村 第 一 川	190
朝 日 川	710	小 池 川	850	影 平 川	250
夏 吉 川	600	小 野 迫 川	600	築 地 第 3 川	100
今 下 田 川	182	前 田 川	798	下長岩屋第1川	575
北 川	1,800	田 ノ 口 川	745	堂 園 川 第 一	375
北 川 支 川	500	波 戸 川	1,400		
琴 ノ 組 川	480	小 河 内 川	900	計 67 溪流	121,996

(急傾斜地崩壊危険区域)

※1:旧豊後高田市 ※2:旧真玉町 ※3:旧香々地町

市 町 村 名	地 域 名	区 分	指定面積(a)	
豊 後 高 田 市	玉 津	概 成	124	※1
	権 毛	概 成	23	※1
	野 部	概 成	91	※1
	真 中	概 成	156	※1
	落	概 成	140	※1
	新 城 1	概 成	195	※1
	新 城 2	概 成	90	※1
	茂 原	概 成	40	※1
	相 原	概 成	71	※1
	下 屋 敷	概 成	160	※1
	米 山	概 成	48	※1
	北 の 迫	概 成	83	※1
	池 部	概 成	142	※1
	2 号 相 原	概 成	95	※1
	小 田 原	概 成	201	※1
	上 野	概 成	191	※1
	畑	概 成	144	※1
	内 山	概 成	153	※1
	野 添	概 成	80	※1
	来 縄	概 成	87	※1
	3 号 相 原	概 成	30	※1
	真 中	概 成	86	※1
	迫	概 成	50	※1
	2 号 真 中	概 成	70	※1
	大 村	一部概成	110	※1
	荒 尾	概 成	57	※1
	2 号 来 縄	概 成	38	※1

全:53箇所のうち

概 成: 49箇所

一部概成: 4箇所

実 施 中: 1箇所

未 着 手: 0箇所

(令和7年3月31日現在)

市 町 村 名	地 域 名	区 分	指定面積(a)	
豊 後 高 田 市	夏 吉	一部概成	10	※1
	浜 田	概 成	71	※1
	ホ キ	概 成	90	※1
	真 玉	概 成	61	※2
	浜 東	一部概成	30	※2
	常 盤	概 成	12	※2
	東 浜	概 成	38	※2
	赤 坂	概 成	10	※2
	臼 泊	概 成	40	※2
	小 林	概 成	50	※2
	三 分 一	概 成	66	※2
	下 黒 土	概 成	331	※2
	香 々 地	概 成	121	※3
	松 津	概 成	100	※3
	尾 崎	概 成	191	※3
	東 羽 根	概 成	240	※3
	脇	概 成	69	※3
	石 場	一部概成	245	※3
	堀 切	概 成	50	※3
	東 松 津	概 成	90	※3
	金 伏	概 成	110	※3
	見 目	概 成	160	※3
	2 号 見 目	概 成	130	※3
	堅 来	概 成	168	※3
	平 ノ 下	概 成	99	※1
	木 ノ 下	概 成	62	※2
合 計		53箇所	5,399	

(旧豊後高田市:31箇所, 旧真玉町:10箇所, 旧香々地町 12箇所)

3. 令和7年度の事業概要

(1) 主要施策（重点事業）の概要

①一般国道 国道213号 道路改良事業（香々地～真玉バイパス）

（事業の目的及び趣旨）

当該路線は、国東半島の各地域を結び、地域の物流や生活を支える幹線道路である。さらに、当該路線は竹田津港から周防灘フェリーを経由し、広島・関西方面へ向かう最短ルートとなることから観光や物流の主要なルートとなっている。また、東九州自動車道の通行止めの際には、周防灘フェリーを利用したダブルネットワーク機能としての役割も期待されている。

しかしながら、当該事業区間は、リアス式海岸に沿う急カーブによる危険が多く、平成29年6月及び令和5年7月には海岸側の断崖部が崩落するなど脆弱な区間となっている。また、小中学校の通学路でもあり、歩道が整備されていないことから、重大事故の発生が懸念されている。

このため、円滑な交通機能の確保、交通安全を目的として平成13年度から道路改良事業に着手している。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長2,830m（事業費52億7千8百万円）であり、主な構造物はトンネル2箇所、橋梁4橋である。

平成19年度から臼野地区の工事に着手しており、平成27年度に240m、平成28年度は350mの区間を部分供用している。

令和7年度は、引き続き用地取得に向けた交渉を行う予定である。

②主要地方道 豊後高田国東線 道路改良事業（一畑2）

（事業の目的及び趣旨）

当該路線は、豊後高田市と国東市を結ぶ重要な路線であり、国東半島の主要観光拠点である両子寺や国宝富貴寺、昭和の町を繋ぐ重要な観光ルートになっている。

しかし、当該事業区間は、幅員が狭く、道路勾配も急であり、冬季には積雪や凍結による事故が多数発生していることから、地域ネットワークの強化、地域・観光振興への寄与、走行性・安全性の向上を目的として、平成30年度から道路改良事業に着手している。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長880m（事業費9億9千万円）であり、令和3年度から工事に着手しており、令和6年度に終点側280mの区間について部分供用している。

令和7年度は引き続き、残る未改良区間の道路改良工事を進捗させる予定である。

③国道213号 交通安全事業（羽根）

（事業の目的及び趣旨）

当該路線は、地域の物流や生活を支える幹線道路であり、観光や物流の主要なルートとなっていることから交通量が多い路線である。しかしながら、当該区間については、小中学校の通学路でもあり、歩道が整備されておらず、松津トンネル内においては路肩も狭いため、重大事故の発生が懸念されている。また、通学路合同点検の対策箇所となっており、早期の安全対策が望まれている。

このため、自転車歩行者道を整備し、歩行者や自転車の安全な通行空間の確保を図る。

（事業の執行状況及び成果）

全体計画は、延長318m（事業費8億円）であり、自転車歩行者道の整備を行う。主要な構造物として人道トンネルを1箇所計画している。

令和7年度は、水文調査や用地測量などを進捗させる予定である。

④道路施設修繕事業（橋梁耐震化、橋梁補修、トンネル補修）

（事業の目的及び趣旨）

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震等の巨大地震が発生した場合でも、国道213号などの緊急輸送道路ネットワークの機能を確保するため、橋梁の耐震化を図る。

また、今後、高度経済成長期を中心に建設された多くの橋梁やトンネルが一斉に老朽化することから、「大分県橋梁長寿命化計画」、「大分県トンネル長寿命化計画」などにに基づき、道路施設の定期点検を着実にを行い、対策が必要と判断された施設について計画的に補修工事を実施する。

（事業の執行状況及び成果）

橋梁の耐震化については、早急な対策が必要とされる緊急輸送道路上の全14橋の対策を完了している。

橋梁の補修については、早期措置対策が必要な29橋全ての対策を令和2年度までに完了しており、予防保全対策が必要な5橋について、令和6年度までに調査・設計を行っている。また、令和5年度の定期点検において、2橋の早期措置対策が必要な橋梁が認められたため、令和6年度に国道213号の堂園橋の補修設計を実施した。令和7年度は、昨年度に途中追加された予算にて堂園橋の補修工事及び残る一般県道美和佐野線の高宇田橋の補修設計を実施予定である。

トンネルの補修については、早期措置対策が必要な13箇所全ての対策を令和元年度までに完了しており、令和7年度は、昨年度に途中追加された予算にて予防保全対策が必要な国道213号の真玉トンネルの補修工事を実施予定である。

⑤下長岩屋第1川 火山砂防事業

(事業の目的及び趣旨)

豊後高田市の長岩屋地区に位置する下長岩屋第1川は、流域0.20km²の土石流危険溪流であり、その上流域では荒廃が進み、山腹崩壊による不安定土砂が多量に堆積している。

そのため、人家、指定避難所（戴星学園）や避難路である一般県道地蔵峠小田原線を保全するため、平成30年度から火山砂防事業に着手している。

(事業の執行状況及び成果)

全体計画は、事業費2億9千9百万円であり、主な構造物は堰堤1基、溪流保全工389mである。

令和3年度より本工事に着手しており、令和7年度も引き続き本工事を進捗させる予定である。

⑥畑・堂園川 火山砂防事業

(事業の目的及び趣旨)

豊後高田市の見目地区に位置する畑川及び堂園川は、流域0.16km²の土石流危険溪流であり、溪流内には長年の風雨により流出した土石が堆積しており、土砂災害の危険性が高い状況にある。

そのため、人家や公民館、国道213号、市道等を保全するため、令和3年度から火山砂防事業に着手している。

(事業の執行状況及び成果)

全体計画は、事業費4億7千1百万円であり、主な構造物は堰堤2基、溪流保全工360mである。

令和3年度より測量・設計に着手しており、令和7年度は用地取得を進捗させる予定である。

⑦臼野港 統合補助事業（延命化）

（事業の目的及び趣旨）

豊後高田市の真玉に位置する臼野港（臼野地区）において、波浪の影響および経年劣化により、物揚場の上部工陥没や防舷材の損傷が認められ、船舶が安全に係留ができない状況が発生している。そのため、物揚場の上部工やエプロン、付属施設の補修を実施している。

臼野港では、港内に土砂が流入し、泊地の一部に水深が不足している箇所が認められたことから、地方創生港整備推進交付金事業により、泊地内の浚渫や防砂堤の整備などを実施した経緯がある。（令和5年度完了済）

（事業の執行状況及び成果）

令和4年度に事業に着手し、臼野地区の物揚場の上部工・エプロン・附属物施設補修の進捗を図っている。

令和6年度は、臼野地区の物揚場補修工事（上部工及びエプロン）を実施しており、令和7年度も引き続き、物揚場補修工事（上部工及びエプロン）の進捗を図る予定である。

(2) 令和7年度公共事業施工箇所調書

※注1: 工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注2: 事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段: 全体事業費 中段: 令和7年度 下段: 令和7年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
1	道 路	防災・安全 交付金	道路改良	国道213号	豊後高田市	小池～ 臼野	15,000 (2,000)	継続	C= 5,278,000 C= 15,000 C= 3,676,000	L= 2,830m L= 8m L= 1,971m	
2	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田国東線	豊後高田市	一畑2	15,000 (-)	継続	C= 990,000 C= 15,000 C= 315,000	L= 880m L= 13m L= 280m	
3	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田安岐線	豊後高田市	三宮	84,000 (82,000)	継続	C= 820,000 C= 84,000 C= 717,600	L= 930m L= 95m L= 814m	
4	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	梅木南	95,000 (-)	継続	C= 1,490,000 C= 95,000 C= 782,000	L= 1,740m L= 111m L= 913m	
5	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	新城山香線	豊後高田市	田染路	22,000 (-)	継続	C= 700,000 C= 22,000 C= 622,000	L= 990m L= 31m L= 880m	
6	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	豊後高田国東線	豊後高田市	一畑3	30,000 (-)	継続	C= 400,000 C= 30,000 C= 375,400	L= 470m L= 35m L= 441m	
			小計	6箇所			261,000 (84,000)				
7	道 路	補助事業	交通安全	国道213号	豊後高田市	新地	21,000 (1,000)	継続	C= 350,000 C= 21,000 C= 21,000	L= 270m L= 16m L= 16m	
8	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	豊後高田国東線	豊後高田市	本町	11,000 (-)	継続	C= 190,000 C= 11,000 C= 67,000	L= 2,971m L= 172m L= 1,048m	
9	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	国道213号	豊後高田市	羽根	9,000 (-)	継続	C= 800,000 C= 9,000 C= 718,650	L= 318m L= 4m L= 286m	
10	道 路	防災・安全 交付金	交通安全	豊後高田安岐線	豊後高田市	田染横嶺	11,000 (-)	継続	C= 300,000 C= 11,000 C= 290,446	L= 830m L= 30m L= 804m	
			小計	4箇所			52,000 (1,000)				

令和7年4月1日現在

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段:全体事業費 中段:令和7年度 下段:令和7年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
11	道 路	補助事業	橋梁点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	19,000 (－)	継続	C=	19,000	－
12	道 路	補助事業	トンネル点検	管内一円(国道)	豊後高田市	管内一円	8,000 (－)	継続	C=	8,000	－
13	道 路	補助事業	橋梁点検	管内一円(県道)	豊後高田市	管内一円	19,000 (－)	継続	C=	19,000	－
			小計				46,000 (－)				
14	道 路	防災・安全 交付金	災害防除	国道213号 外	豊後高田市	臼野 外	37,000 (1,000)	継続	C=	37,000	－
			小計				37,000 (1,000)				
15	道 路	通常補助	施設修繕	国道213号	豊後高田市	真玉トンネル	11,000 (－)	継続	C=	11,000	－
			小計				11,000 (－)				
			道路費計	15箇所			407,000 (86,000)				
16	港湾	補助事業	統合補助 (延命化)	高田港	豊後高田市	呉崎	40,000 (－)	継続	C=	40,000	－
17	港湾	補助事業	統合補助 (延命化)	臼野港	豊後高田市	臼野	21,000 (－)	継続	C=	21,000	－
			港湾費計	2箇所			61,000 (－)				

令和7年4月1日現在

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要	上段:全体事業費 中段:令和7年度 下段:令和7年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大字					
18	砂防	防災・安全 交付金	急傾斜地 崩壊対策	岩ノ下1	豊後高田市	中真玉	5,000 (5,000)	継続	C= 295,000 C= 5,000 C= 262,641	L=350m L= 6m L=312m	
			小計	1箇所			5,000 (5,000)				
19	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	畑・堂園川	豊後高田市	見目	3,000 (3,000)	継続	C= 471,000 C= 3,000 C= 307,530	H=5.5m H= 0.m H= 3.6m	
20	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	尾鷲長谷川	豊後高田市	臼野	4,000 (4,000)	継続	C= 250,000 C= 4,000 C= 172,120	H=7.0m H=0.1m H=4.8m	
21	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	尾鷲谷2AB川	豊後高田市	臼野	5,000 (5,000)	継続	C= 240,000 C= 5,000 C= 193,760	H=7.0m H=0.1m H=5.7m	
22	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	佐屋ノ元川	豊後高田市	加礼川	15,000 (—)	継続	C= 136,000 C= 15,000 C= 34,457	H=10.0m H=1.1m H=2.5m	
23	砂防	防災・安全 交付金	火山砂防	甘木川	豊後高田市	加礼川	20,000 (—)	新規	C= 211,000 C= 20,000 C= 211,000	H=7.0m H=0.7m H=7.0m	
			小計	5箇所			47,000 (12,000)				
24	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	大岩屋川	豊後高田市	大岩屋	14,900 (—)	新規	C= 14,900	—	
25	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	真玉	豊後高田市	中真玉	40,000 (—)	継続	C= 40,000	—	
26	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	東羽根	豊後高田市	羽根	10,000 (—)	継続	C= 10,000	—	
27	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	真中	豊後高田市	田染真中	10,000 (—)	継続	C= 10,000	—	
28	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	香々地地区	豊後高田市	香々地	20,000 (—)	新規	C= 20,000	—	
29	砂防	補助事業	砂防メンテナンス 事業	脇地区	豊後高田市	香々地	20,000 (—)	新規	C= 20,000	—	
			小計	6箇所			114,900 (—)				
			砂防費計	12箇所			166,900 (17,000)				
			公 共 計	29箇所			634,900 (103,000)				

令和7年4月1日現在

(3) 単独事業費調書

※注1:工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2:歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘 要
交 通 安 全 事 業	17.700	
側 溝 整 備 事 業	3.401	
道 路 防 災 事 業	31.995	
身 近 な 道 改 善 事 業	29.172	
道 路 改 良 事 業	81.690	
道 路 施 設 補 修 事 業	44.930	
道 路 計	208.888	
河 川 海 岸 改 良 事 業	60.000	
緊 急 河 床 掘 削 事 業	40.000	
河 川 施 設 災 害 防 止 緊 急 対 策 事 業	60.000	
河 川 計	160.000	
急 傾 斜 地 崩 壊 対 策 事 業	58.000	
砂 防 施 設 再 生 事 業	18.835	
砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業	166.500	
砂 防 計	243.335	
共 生 の ま ち 整 備 事 業	4.510	道路分のみ
地 域 の 安 心 基 盤 づ く り サ ポ ー ト 事 業	4.308	
そ の 他 計	8.818	
合 計	621.041	

令和7年4月1日現在

(4) 災害復旧事業進捗状況調書

(建設災害)

年災別	決定工事費		令和6年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A	箇所数	金額C (千円)	C/A
					(%)			(%)
2災	3	49,438	3	52,305	105.8	0	0	－
3災	1	6,218	1	6,578	105.8	0	0	－
4災	0	0	0	0	－	0	0	－
5災	17	337,954	17	321,054	95.0	0	0	－
6災	58	1,672,898	57	1,541,421	92.1	0	0	－
計	79	2,066,508	78	1,921,358	93.0	0	0	－

※工事雑費は含まない

(港湾災害)

年災別	決定工事費		令和6年度までの実施額			残工事		
	箇所数	金額A (千円)	箇所数	金額B (千円)	B/A	箇所数	金額C (千円)	C/A
					(%)			(%)
2災	0	0	0	0	－	0	0	－
3災	0	0	0	0	－	0	0	－
4災	0	0	0	0	－	0	0	－
5災	0	0	0	0	－	0	0	－
6災	0	0	0	0	－	0	0	－
計	0	0	0	0	－	0	0	－

(5) 検査箇所調書

年度別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	摘要
検査箇所	57箇所	61箇所	61箇所	86箇所	500万円以上8,000万円未満の工事
請負金額	1,401,908千円	1,647,544千円	2,119,481千円	1,853,755千円	

4. 用地登記事務処理状況

令和7年3月末現在

区 分	昭和38年 ～平成14年	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	合計
取 得 筆 数	14,819	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	70	41	113	139	52	14	21	47	16,755
5年度までの の処理筆数	14,558	201	210	191	130	112	86	58	72	45	71	137	37	51	38	70	41	113	139	52	14	21	0	16,447
6年度中の 処 理 筆 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	47
残 筆 数	261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	261
(%) 登 記 率	98.2	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98.4

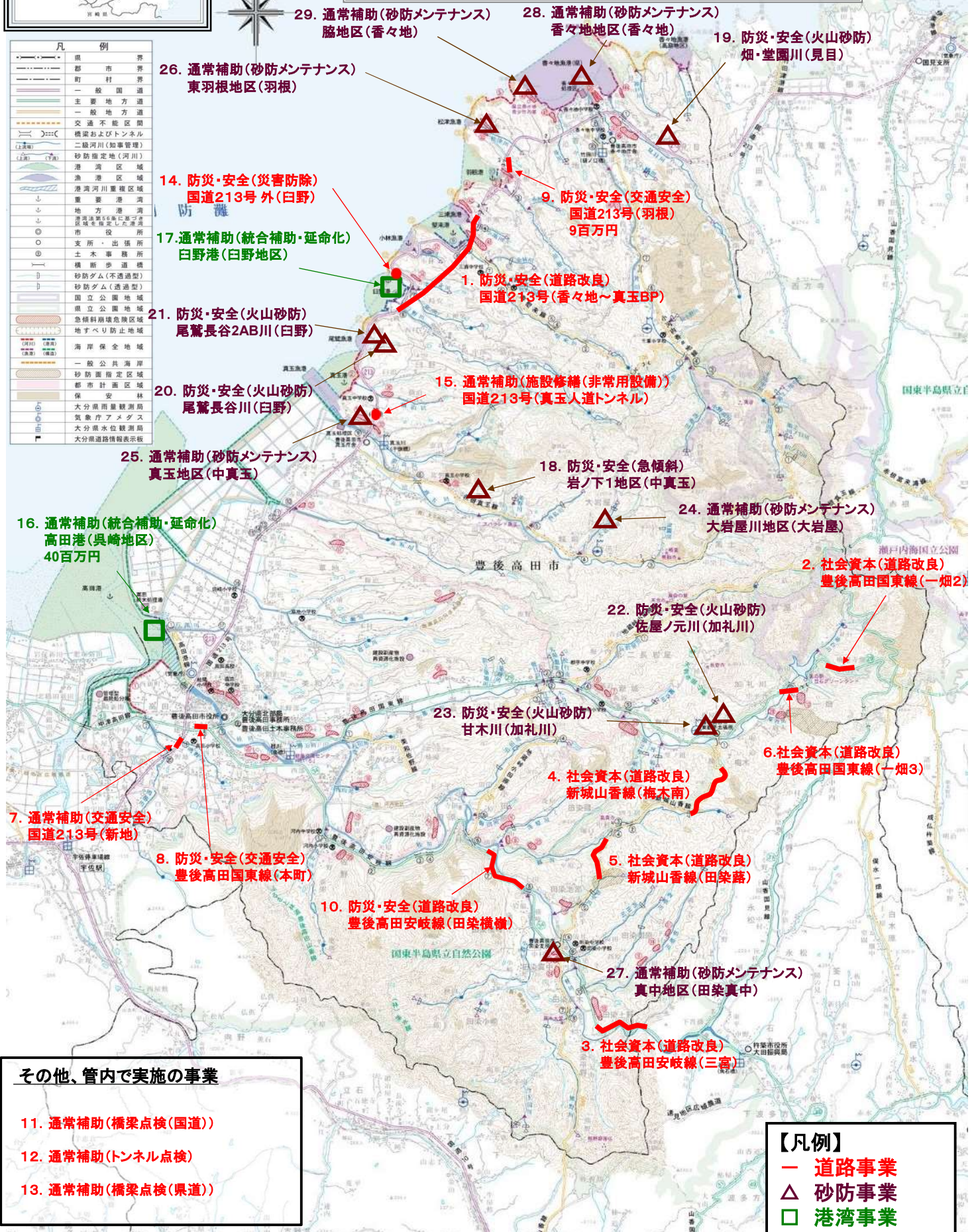


大分県豊後高田土木事務所管内図

令和7年度 公共事業等施工箇所図

(令和7年6月6日時点)

凡	例
県界	市界
町界	村界
一般国道	主要地方道
一般地方道	交通不能区間
橋梁およびトンネル	二級河川(知事管理)
砂防指定地(河川)	港湾区域
漁港区域	港湾河川重複区域
重要港湾	地方港湾
重要港湾区域	指定区域に基
市役所	支所・出張所
土木事務所	橋歩道橋
砂防ダム(不透型)	砂防ダム(透過型)
国立公園地域	県立公園地域
急傾斜崩壊危険区域	地すべり防止地域
海岸保全地域	一般公共海岸
砂防指定区域	都市計画区域
都市安林	大分県雨量観測局
気象庁アメダス	大分県水位観測局
大分県道路情報表示板	



その他、管内で実施の事業

【凡例】

- 道路事業
- △ 砂防事業
- 港湾事業